

貸借対照表

(平成28年5月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	220,649	流動負債	364,719
現金及び預金	76,470	買掛金	988
売掛金	3,708	未払金	2,607
前払費用	134,803	未払費用	4,177
その他	7,546	前受金	355,800
貸倒引当金	△1,879	未払法人税等	180
固定資産	57,344	その他	964
有形固定資産	455	固定負債	5,157
工具器具備品	455	インプラント保証引当金	5,157
無形固定資産	56,889	負債合計	369,877
ソフトウェア	255	(純資産の部)	
のれん	56,634	株主資本	△91,882
		資本金	25,000
		資本剰余金	25,000
		資本準備金	25,000
		利益剰余金	△141,882
		その他利益剰余金	△141,882
		繰越利益剰余金	△141,882
		純資産合計	△91,882
資産合計	277,994	負債・純資産合計	277,994

(注) 金額は表示単位未満を切り捨てて記載しております。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② インプラント保証引当金

インプラント保証サービスに係る再治療費の支出に備えるため、実績率等を勘案して将来発生すると見込まれる負担額を計上しております。

(3) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、個別案件ごとに判断し、20年以内の合理的な年数で均等償却しております。ただし、金額に重要性が乏しいものについては、発生時に一括償却しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額 当期純損失 △43,785,081 円